

山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第20週
(2025年5月12日～2025年5月18日) 2025年5月21日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

定点 種別	感 染 症	全 国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
		第19週	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	
感 急 染 性 症 呼 吸 点 器	内科・小児科 (定点医療機関数)		(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	2580	14	50	Δ	2	4	Δ	6	15	▲	1	1		4	5	Δ	1	25	Δ	6417
		0.67	0.36	1.28		0.29	0.57		0.60	1.50		0.25	0.25		0.67	0.83		0.08	2.08		
小 児 科 定 点	新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)	3604	56	55	▼	7	7		20	14	▼	6	4		13	22	Δ	10	8	▽	2956
		0.94	1.44	1.41		1.00	1.00		2.00	1.40		1.50	1.00		2.17	3.67	Δ	0.83	0.67		
	(定点医療機関数)		(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	710	16	16		1	2		5	4	▼		3	Δ	6	3	▽	4	4		375
		0.30	0.62	0.62		0.17	0.33	Δ	0.71	0.57			1.00	Δ	2.00	1.00	▽	0.57	0.57		
	咽頭結膜熱	934	5	16	Δ	2	4	Δ	2	3	Δ	1	2	Δ		7	Δ				205
		0.40	0.19	0.62		0.33	0.67		0.29	0.43		0.33	0.67			2.33					
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	4667	43	83	Δ	10	19	Δ	7	10	Δ	2	3	▲	18	46	Δ	6	5	▽	1365
		1.98	1.65	3.19		1.67	3.17	Δ	1.00	1.43	Δ	0.67	1.00	▲	◎6.00	◎15.33	Δ	0.86	0.71		
	感染性胃腸炎	13636	124	173	Δ	19	29	Δ	61	87	Δ	5	15	Δ	23	20	▽	16	22	Δ	2920
		5.78	4.77	6.65		3.17	4.83	Δ	8.71	12.43	Δ	1.67	5.00	Δ	7.67	6.67	▽	2.29	3.14		
	水痘	1190	25	17	▽	17	7	▽	1	5	Δ	4	1	▽	2	1	▽	1	3	Δ	220
		0.50	0.96	0.65		◎2.83	◎1.17		0.14	0.71		◎1.33	0.33		0.67	0.33		0.14	0.43		
	手足口病	189		4	Δ					4	Δ										178
		0.08		0.15						0.57	Δ										
	伝染性紅斑	2680	84	163	Δ	14	32	Δ	44	88	Δ	1	2	▲	12	13	▲	13	28	Δ	970
		1.14	◎3.23	◎6.27		◎2.33	◎5.33		◎6.29	◎12.57	Δ	0.33	0.67	▲	◎4.00	◎4.33		◎1.86	◎4.00		
	突発性発しん	706	3	17	Δ		4	Δ		3	Δ		4	Δ	3	3			3	Δ	149
		0.30	0.12	0.65			0.67			0.43	Δ		1.33		1.00	1.00			0.43		
眼 科 定 点	ヘルパンギーナ	62	1		▽				1		▽										10
		0.03	0.04						0.14												
	流行性耳下腺炎	140																			22
		0.06																			
基 幹 定 点	(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	27																			0
		0.04																			
基 幹 定 点	流行性角結膜炎	523	3		▽							3		▽							103
		0.75	0.38									3.00									
	(定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	106	2	3	Δ	1	3	Δ	1		▽										27
		0.22	0.20	0.30		0.50	1.50	Δ	0.50												
	クラミジア肺炎	2																			0
		0.00																			
基 幹 定 点	マイコプラズマ肺炎	158	4	1	▼							3		▽				1	1		104
		0.33	0.40	0.10								3.00						0.33	0.33		
	細菌性髄膜炎	8																			2
		0.02																			
	無菌性髄膜炎	9																			1
		0.02																			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<通 信 欄>

〇トピックスでは、「伝染性紅斑」と「百日咳」について掲載しています。
〇インフルエンザ情報
第20週における県内のインフルエンザに関する情報は以下のとおりです。
・迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数
A型:44件、B型:6件(定点医療機関からの報告)
・インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2024.9.2～2025.5.13)
今シーズン(2024年36週～)の患者から、
AH1pdm09が211件、AH3が12件、B型(ビクトリア系統)が12件検出されています。

警報・注意報の基準(参考値)

感 染 症	警報レベル		注意報 レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、
警報・注意報の基準については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種 別 点	感 染 症																
急性呼吸器感染症 定点	内科・小児科	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計	
	インフルエンザ			1	3			1	4	2	5	3	24	2		50	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～										
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)		3	1	1												55
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳		
		1	2	5	2			1	3	2	1	1	2	1	1		
30～39歳		40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～											
8	6	3	7	5	4												
小児科 定点		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～		
	RSウイルス感染症	2	4	4	3	2	1									16	
	咽頭結膜熱		3	4	4	2		1	1		1					16	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	5	8	8	15	11	9	7	6	5	2	3	83	
	感染性胃腸炎		18	34	22	14	17	13	12	11	3	7	15	1	6	173	
	水痘				1	1	2	2	3	2	1	2	3			17	
	手足口病		1	1	2											4	
	伝染性紅斑		1	10	8	16	23	21	21	24	17	7	15			163	
	突発性発しん		6	10	1											17	
	ヘルパンギーナ															0	
流行性耳下腺炎															0		

< 全数把握感染症 >

感 染 症	報 告 数					備 考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1	1				
腸管出血性大腸菌感染症	1	1				型別:O166 VT2(2)
E型肝炎	1					第19週追加報告分
つつが虫病					1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					ワクチン接種歴:不明
侵襲性肺炎球菌感染症	1					ワクチン接種歴:4回
梅毒					1	
水痘(入院例)					1	ワクチン接種歴:無し
百日咳	16	12		2	1	ワクチン接種歴:4回(19)、2回(1)、不明(11)

<トピックス>

伝染性紅斑と百日咳が増加しています

第20週における伝染性紅斑の県定点当たり報告数は6.27で、全保健所で定点当たり報告数が増加しており、6週連続で警報レベル(参考値)となりました。また、百日咳の報告数は31人で前週の約2倍に増加しました。特に山形市保健所、村山保健所からの報告が多くなっています。(下図参照)

どちらの感染症も感染経路は飛沫感染と接触感染です。

「手指衛生」「咳エチケット」「換気」等の基本的な感染対策に努めましょう。

【伝染性紅斑】

小児を中心にみられる流行性の発しん性の感染症で「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

約10～20日の潜伏期を経てかぜのような症状がみられ、その後、両頬に紅い発しんが現れます。かぜのような症状がみられる時期にウイルス排出が最も多くなり、発しんが現れたときには感染力はほぼ消失しています。

妊婦が感染すると、胎児にも感染する可能性があるため特に注意しましょう。

【百日咳】

図 百日咳保健所別報告数 (第20週現在)

けいれん性の咳発作を特徴とする感染力が強い急性気道感染症です。乳児(特に新生児や乳児早期)では重症化することがあります。

通常5～10日間(最大3週間程度)の潜伏期を経てかぜ症状にはじまり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

<予防と対策>

百日咳ワクチンを含む5種混合ワクチンが定期接種で行われています。重症化予防の観点から、定期接種の対象年齢(月齢)に達した乳児はすみやかに接種を受けることが重要です。また、特に乳児や妊婦が周辺にいる方は感染に注意し、長期の咳が持続する場合は早めに医療機関を受診しましょう。

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

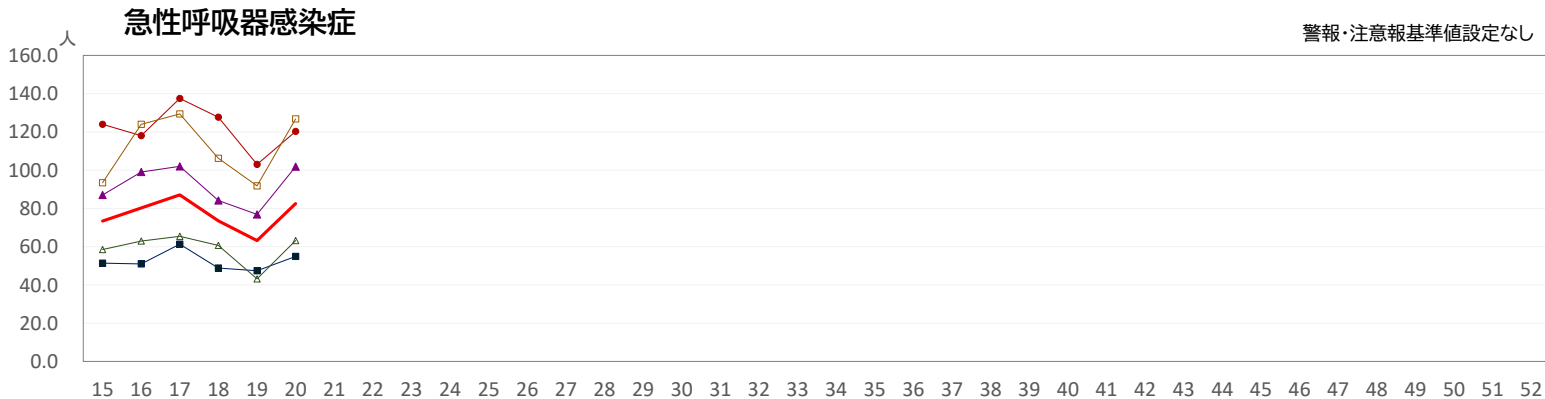
感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第19週	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第19週	第20週	増減	第15～20週	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)				(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	182709	2401	3135	Δ	538	713	Δ	474	549	Δ	412	481	Δ	459	634	Δ	518	758	Δ	17402	
	47.63	63.18	82.50		76.86	101.86		47.40	54.90		103.00	120.25		91.80	126.80		43.17	63.17			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第20週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
急性呼吸器感染症	237	1260	703	351	93	63	78	78	59	87	65	61	3135

< 定点当たり報告数グラフ >



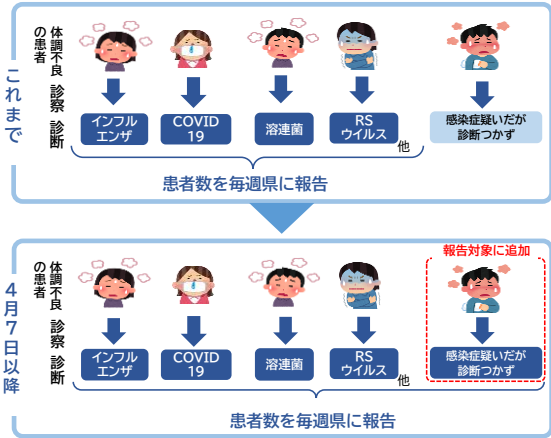
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始められました。

ARIサーベイランスは、**症例定義**※に一致する患者数の発生を把握する**症候群サーベイランス**です。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶

